

お忙しい中、個人懇談にお越しいただきありがとうございました。今回は、懇談の中で話題になったことの中で、保護者の皆様に知っていただいた方がよいことについてお伝えします。

<12>

漢読について

Q. タイムは計らなければいけませんか。

A. 必須ではありませんが、推奨します。

「スラスラ読めるようにしましょう。」と言っても、「スラスラ」がどれくらいなのかが分かりにくいです。「スラスラ」の目安として分かりやすいのが「タイム」です。また、素早く読むことで、短時間で何度も音読をすることができ、より漢字の読みを習得しやすくなります。毎日の宿題で1回ではなく、2回、3回と繰り返し読んでいる子どもたくさんいます。

さらに、毎回タイムを計ることで、「昨日よりもタイムが縮まった!」と、自分の成長を実感できることになり、「もっとよいタイムを出そう」という次の目標設定にもつながります。

とは言っても、「声をしっかり出す」「漢字を見ながら正しく読む」ことが前提ですので、タイムにばかり注意がいてしまうようなら、まずは読むことに集中してもよいと思います。

Q. 読み仮名を隠して漢字だけにすると読めません。

A. 塗りつぶし音読をおすすめします。

スラスラ読めるようになったら、読み仮名を鉛筆やネームペンで塗りつぶした上で読むことで、読みの力がさらにつきます。

国語の読解力について

Q. 文章を読むことが苦手です。読解力をつけるためにはどうすればよいですか。

A. 音読がおすすめです。

音読は、声に出して読むこと自体に価値があると言われ、音読（スラスラ読み上げる力）と読解力とは相関関係にあるというデータも出ています。「ハキハキ（一音一音をはっきりと）」「スラスラ（つかえることなく）」「正しく（間違えることなく。読点を意識して）」を意識して毎日の音読に取り組むだけでも十分に効果があります。しかし、さらにということであれば、市販の音読の本（いろいろ出ています）や今までの教科書などを使って、宿題以外にも音読をするとよいと思います。ただし、すぐに効果は出ません。続けることが大切です。

算数の文章題について

Q. 文章題が苦手です。国語の読解力がないからでしょうか。

A. すぐに式にしないことが大切です。

国語の読解力と算数の読む力は似ているようで違います。算数では、文章題を読んだらすぐに式にするというくせがついていますが、すぐに式にしてしまうと、問題文を本当に理解できたのかどうか分かりません。たし算の単元のときはたし算、かけ算の単元のときはかけ算…それ以外が出てくることはあまりなく、さらに、問題文に出てきた数の順に式にすればよいという問題が多いからです。そのため、学年が上がり、問題が複雑になってくると、文章題を苦手を感じる子が多くなります。そこで大切なのは、文章題を読んだら絵や図にしてみることです。3年生であればテープ図や線分図、図が苦手であれば絵でもよいです。まずは、お話の場面を絵や図にしてみる。次に、式にするという手順を踏むことで、自分でイメージする力がついてきます。